

未来社会創造事業 探索加速型  
「持続可能な社会の実現」領域  
年次報告書(探索研究)

H30 年度  
研究開発年次報告書

平成 30 年度採択研究開発代表者

[研究開発代表者：檜山 敦]

[東京大学 先端科学技術研究センター 講師]

[研究開発課題名：人材の多様性に応じた知的生産機会を創出する AI 基盤]

実施期間：平成 30 年 11 月 15 日～平成 31 年 3 月 31 日

## § 1. 研究開発実施体制

### (1)「檜山」グループ（東京大学 先端科学技術研究センター）

#### ① 研究開発代表者:

檜山 敦（東京大学 先端科学技術研究センター 講師）

#### ② 研究項目:

- 人材スキル抽出:人材プロフィール収集インタフェース設計
- 仕事スキルの因数分解:職務スキルプロフィール収集インタフェース設計
- 人材支援技術
  - スキル獲得支援技術設計
  - テレワークインタフェース設計
  - スキル補完マッチング設計

### (2)「秋山」グループ（東京大学 高齢社会総合研究機構）

#### ① 主たる共同研究者:

秋山 弘子（東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授）

#### ② 研究項目:

- 人材スキル抽出:多様な働き方を踏まえたプロフィール項目の調査設計
- 仕事スキルの因数分解:キャリア/リクルーティングアドバイザー調査

## § 2. 研究開発実施の概要

本研究開発で中核となるジョブマッチングプラットフォームの具体的な構造を提示し、その実現へ向けて必要となる基本設計要素の調査に重点的に取り組んだ。人材ビジネスにおける人材側の情報を収集し人材へのアドバイスを行うキャリアアドバイザーの暗黙知の抽出と企業側の求人者の職務スキルを具体化しアドバイスを行うリクルーティングアドバイザーの暗黙知を抽出し、それらのデータ収集を効率化するインタフェースの設計とデータに基づくマッチングアルゴリズムの構築という形で研究開発イメージを具体化した。さらに、対象となる人材ターゲット層として女性・シニア・障害者を設定し、プラットフォームの社会実装と検証を行うフィールド構築に取り組んだ。女性の就労支援に関してはリクルートの各事業部との連携を進め、キャリア/リクルーティングアドバイザーのマッチングに関する暗黙知の調査を開始すると同時に、人材側の就労観の調査を展開した。シニア就労支援に関しては、熊本県との連携の下、ジョブマッチングプラットフォームの実装を開始し、2019年度より試験運用を開始する。その中で人材プロフィールと発生するジョブデータを分析していくことでマッチングアルゴリズムの設計に反映させる。障害者就労支援については、神戸市での超短時間就労メソッドの社会実装を開始し、2019年度よりジョブのタスク分解とスキルディスクリプションを支援するツールの設計に取り組む予定である。特にジョブマッチングに関しては、経験・スキルに関する情報と同様に社風やパーソナリティの情報を踏まえたマッチングが暗黙知化されており、その領域に切り込んでいくことが人材ビジネス側のニーズとして期待されていることを確認した。